

第118回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和4年4月12日(火) 9:45~10:10	場所	議場
出席者	西岡市長、小澤副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、柿崎環境部長、北村議会事務局長、堤企画政策課長、石原健康課長、田嶋新型コロナウイルス感染症対策担当課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	1 自宅療養者支援状況等 2 ワクチン接種状況 3 各部連絡事項			
資料	・新型コロナウイルス感染症への対応等 ・新型コロナウイルスワクチンの接種状況について			
(進行：福祉保健部長) (市長) ・コロナの感染について、より感染力の強いBA2への移行が顕著であり、第7波が懸念される。市の対応についても当面は現在の方針を継続する。 ・本市における感染者の累計は、4月11日時点で8,590人となっており、710名の方が療養中である。本市の人口に当てはめると約14.5人に1人が感染している計算である。10代20代の若者の感染も目立っており、若者世代の感染増加が全世代の感染増加につながると指摘する専門家もいる。引き続き自宅療養者への支援にご注力願いたい。 ・ワクチン接種については、若者の接種促進に向け予約不要の接種日を設けており、引き続き情報発信を継続してほしい。 ・4月24日までリバウンド防止期間であり、各部とも引き続き警戒をお願いしたい。 ・市議会第2回定例会でコロナ対応に係る支援策について議題となる。臨時交付金の活用等各部対応をお願いしたい。 ・4月15日にワクチン連絡会が開催予定である。関係機関と今後の対応について協議していきたい。				
1 自宅療養者支援状況等 (健康課長) ・第6波に係る対応について、新型コロナウイルス感染症への対応等の資料を基に説明。 ・保健所からの自宅療養者への健康観察および生活支援について、圏域各市の状況を資料としてお示しした。今後の対応について、連絡を50歳以上の基礎疾患のある方に限定していくなど、実施方法について再検討していきたい。 ・買い物代行事業については、市補助事業として実施方法を再構築し、第7波にむけて対				

応していきたい。

(市長)

- ・4月19日の全員協議会および市議会第2回定例会で新型コロナウイルス感染症への対応全般の議論となる。全庁的な対応をお願いしたい。

## 2 ワクチン接種状況

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

- ・新型コロナウイルスワクチンの接種状況について、資料を基に説明。
- ・先日起きたワクチンの接種誤りについては、ホームページ等にて公表済みである。

(市長)

- ・3回目接種を引き続き接種を進めていくとともに、4回目接種に係る情報収集に努めていただきたい。

## 3 各部連絡事項

(子ども家庭部長)

- ・市内学童保育所で12名の陽性者が出たため、クラスターが発生したとみなし、一時的に閉所の措置をとっている

(学校教育部長)

- ・教育相談所についても、建物内で感染者が発生したため、施設内消毒の上、利用者に来所を控え、電話等で対応する旨ホームページ公表済みである。

(健康課長)

- ・BCP計画の策定について、地域防災計画の改定に合わせ今年度策定予定である。地域安全課と適宜連携していきたい。

(総務部長)

- ・地域防災計画については、9月にパブコメを実施する予定である。
- ・濃厚接触者の行動制限について、職員課に相談事例はない。行動制限4日目と5日目に抗原検査で陰性となれば、5日目に社会活動へ復帰できるとなっているが、抗原定性検査キットの仕様等の情報はあるのか？

(健康課長)

- ・抗原定性検査キットは体外診断用医薬品である必要があり、薬局薬店で入手困難な状況下では、療養期間終了前の職場復帰は現実的にはかなりハードルが高い。

(以上)